

岩国労働基準監督署管内の労働災害発生状況(速報値)

(令和7年11月末時点)

業種	死亡災害 (前年同期値)	休業災害 (前年同期値)	合計 (前年同期値)	構成比	対増 前減	年数
全産業	2 (2)	125 (102)	127 (104)	100.0%	+23	
製造業		19 (17)	19 (17)	15.0%	+2	
	食料品製造業	7 (4)	7 (4)	5.5%	+3	
	木材・木製品製造業	1 (2)	1 (2)	0.8%	-1	
	化学工業	4 (4)	4 (4)	3.1%	±0	
	窯業土石製品製造業				±0	
	鉄鋼業				±0	
	非鉄金属製造業				±0	
	金属製品製造業	1 (2)	1 (2)	0.8%	-1	
	一般機械器具製造業	1 (2)	1 (2)	0.8%	-1	
	輸送用機械器具製造業	1	1	0.8%	+1	
上記以外の製造業	4 (3)	4 (3)	3.1%	+1		
鉱業					±0	
建設業	(1)	23 (9)	23 (10)	18.1%	+13	
土木工事業	(1)	8 (3)	8 (4)	6.3%	+4	
建築工事業(木建除く)		6 (4)	6 (4)	4.7%	+2	
木造家屋建築工事業					±0	
その他の建設業	9 (2)	9 (2)	7.1%	+7		
運輸交通業	(1)	10 (7)	10 (8)	7.9%	+2	
貨物取扱業		2	2	1.6%	+2	
農林業	1	5 (4)	6 (4)	4.7%	+2	
畜産・水産業		1	1	0.8%	+1	
第三次産業	1	65 (65)	66 (65)	52.0%	+1	
小売業		20 (8)	20 (8)	15.7%	+12	
社会福祉施設		12 (10)	12 (10)	9.4%	+2	
飲食店		5 (5)	5 (5)	3.9%	±0	
上記以外の第三次産業	1	28 (42)	29 (42)	22.8%	-13	

お知らせ

令和7年度 年末年始無災害運動



交通事故は年の後半に多くなる傾向にあり、特に12月に多発しています。一人ひとりが安全運転を心がけるとともに、毎日のミーティングなどでも繰り返し注意喚起しましょう。



出発前の準備

- 目的地方面の交通情報や除雪など気象情報を収集。
- タイヤの摩耗状態、燃料の補給、タイヤチェーンの使い方などを事前に確認。
- 冬タイヤでも走行困難になることがあるため、タイヤチェーンは必ず携行する。

「急」のつく運転を避ける

- 急ハンドル、急ブレーキ、急発進などは、スピinnやスリップの原因になる。時間と心に余裕を持つ。

凍結しやすい場所に注意

- 橋の上、日の当たらない道路、交差点やカーブの手前などは凍結しやすいので、あらかじめスピードを落として徐行運転する。

車間距離を十分に確保する

- 地面の落下物などアクシデントに対応できるよう視界を広くもち、追突事故を予防する。